

庁舎跡地エリアの愛称決定について

庁舎跡地エリアの愛称について公募を行い、5,000 件を超える応募作品の中から、庁舎跡地エリアネーミング審査委員会（委員長 隈研吾氏）の審査等を経て、以下のとおり決定しました。

1. 決定した愛称（最優秀賞）

ハレザ Hareza 池袋

愛称の由来

ちょっぴりおめかしして出かける特別な場所、
非日常を体験できる場所は「ハレの場」。
「座」は、劇場、多くの人が集まる場所の意味。
「ハレ」と「座」を合わせて「ハレザ」。

【選定のポイント】

- ・ ネーミングコンセプトと整合していること
- ・ 覚えやすく、呼びやすいこと
- ・ オリジナリティがあること
- ・ 商標登録がされていないこと



(庁舎跡地エリアの開発イメージ)

2 入賞作品

(1) 優秀賞

愛称名	由来
GEKI MACHI 池袋 (ゲキマチ)	街が舞台となる 8 つの「劇」場、ライブや舞台、イベントなどカルチャーに衝「撃」を受けることができる、刺「激」のある「街」。
ゲキマチ 池袋	8 つの劇場が集まる「国際アート・カルチャー都市」を、新しい街のシンボルである「劇場」と「街」より、「ゲキマチ」とわかりやすく、印象的に命名。
SAKUTO 池袋 (サクト)	「芸術咲く、“都”」、「咲く、“と”しま」。訪れる人々の幸せや笑顔、個性が咲き誇るような場所。人々がサクッと気軽に足を運べる、開けた場所。劇場都市として花ひらき、世界へ向けて輝く都となる拠点。

(2) 子ども最優秀賞

愛称名	由来
KIRA★IKE (キライケ)	ライブや 3 つのビルの見ためでもキラキラとかがやいているから、キラキラと池袋のさいしょの 2 文字をあわせて、キライケにしました。

※その他の入賞作は、ホームページ等で公表します。

3. 愛称の応募状況

(1) 募集期間

平成 29 年 1 月 1 日～2 月 7 日

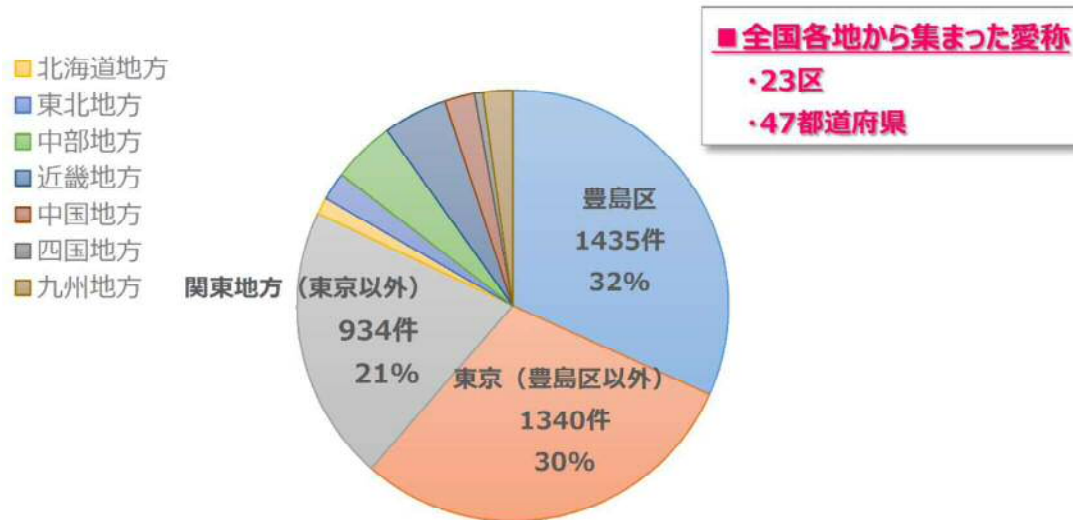
(2) 周知方法

- ・ 広報としま（12 月 1 日号、1 月 1 日号、1 月 21 日号）
- ・ 特設ホームページ及び区ホームページ
- ・ 区長記者会見（12 月 27 日）
- ・ コンペ専門ホームページへの投稿
- ・ 区内公共施設等やイベント（名刺交換会、成人式等）でのチラシ配布
- ・ 区立小中学生への呼びかけ

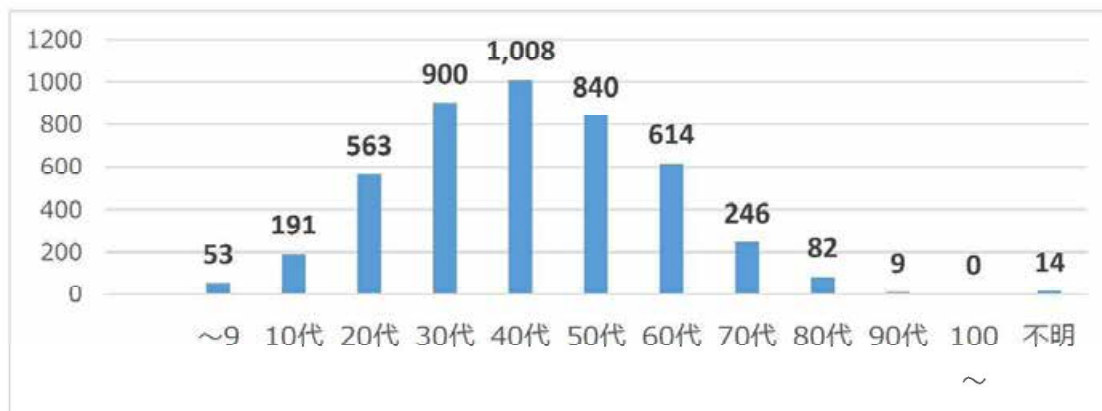
(3) 応募件数

一般	子ども	合計
4,520 件	545 件	5,065 件

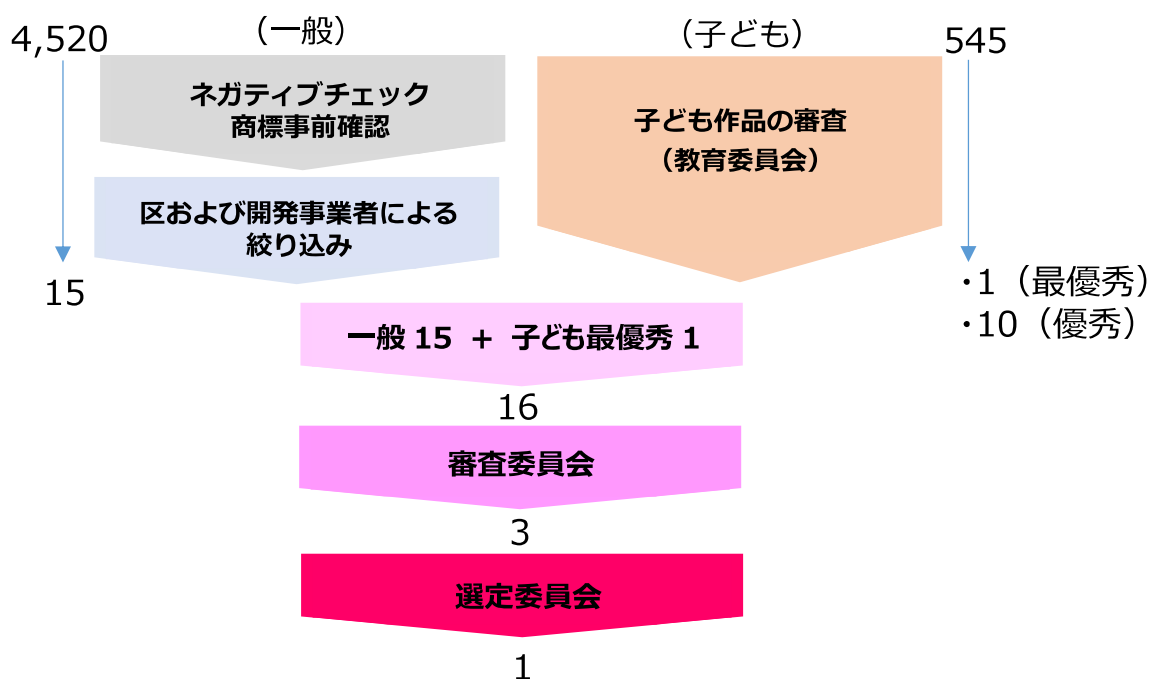
(4) 地域別件数 (一般応募)



(5) 年齢別件数 (一般応募)



4. 審査の流れ



(1) 審査委員会**① 委員名簿**

区分	氏名	国際アート・カルチャー都市との関わり
委員長	隈 研吾	都市政策顧問、国際アート・カルチャー都市懇話会特別顧問
委員	前田 三郎	国際アート・カルチャー都市アドバイザー
	横澤 大輔	国際アート・カルチャー都市アドバイザー
	鈴木 美潮	
	里中 満智子	国際アート・カルチャー都市懇話会委員
	中村 梅彌	
	齊木 勝好	国際アート・カルチャー特命大使代表、豊島区観光協会会長

② 開催状況

開催日	主な議題
第1回 (H28.12.16)	・公募方針と審査の進め方について
第2回 (H29.3.17)	・愛称の審査について

(2) 選定委員会**① 委員名簿**

所属	氏名
豊島区長	高野 之夫
東京建物株式会社 代表取締役社長	野村 均
株式会社サンケイビル 代表取締役社長	飯島 一暢
鹿島建設株式会社 プリンシパルアーキテクト	北 典夫

② 開催状況

開催日	主な議題
H29.3.23	・愛称の選定について

5. 結果の公表

- ・ 豊島区及び開発事業者共同記者会見（3月28日）
- ・ 広報としま（4月1日号）
- ・ 区ホームページ

参考

■愛称対象エリア



■事業の基本スキーム

建物（敷地）	基本スキーム	
オフィス棟（旧日本庁舎敷地） （2020年・夏オープン）	庁舎移転後の公有地を定期借地（76年6月）で民間活用。 建物完成後、新ホール棟の新ホール部分を区が購入。	
新ホール棟（旧公会堂敷地） （2019年・秋オープン）	定期借地権者	東京建物株式会社
	開発事業者	株式会社サンケイビル
	設計・施工	鹿島建設株式会社
新区民センター （2019年・秋オープン）	区による整備事業	
中池袋公園 （2019年・秋オープン）		